

# ひめだ高宏ニュース

NO.1090

16.2.16

日本共産党 和歌山市委員

## まもなく2月定例会市議会が

2月定例会市議会の日程案などを決める議会運営委員会が18日(木)に開かれることになりました。この日の午後には全員協議会が開かれ、新年度予算の内示が行われます。よって、2月定例会市議会は、25日から始まる予定となります。

## 日本共産党 市南後援会 戦争法廃止宣伝

山形事務所 長谷川 啓子

日本共産党南ブロック後援会は14日(日)朝、紀三井寺の国道沿いで、13人が参加して戦争法廃止の宣伝行動に取り組みました。

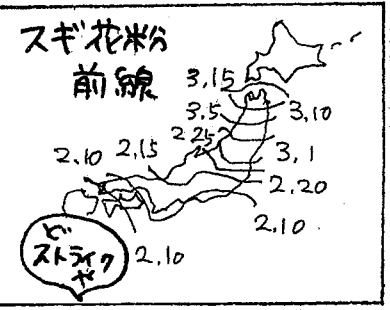
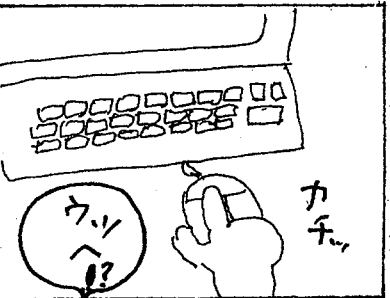
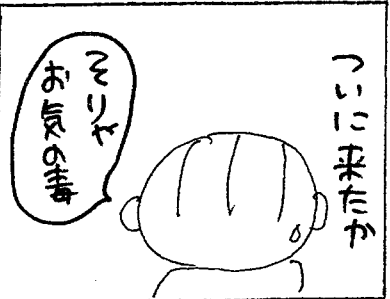
この行動は、昨年9月に国会で戦争法が強行採決さ

れてから毎月1回取り組み、ひめだ市会議員をはじめ、参加者が交代でマイクを握り、それぞれの思いを訴えています。  
この日も、「野党は団結して参議院選挙を戦って」



「戦争は絶対ダメの声を署名に」の訴えに、手を振って声を送ってくださる人やドライバーが横断幕を見てくれました。  
(事務局・山形由廣)

## フリーの人々

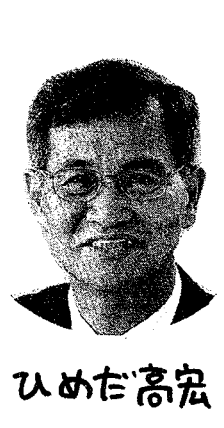


## 今週のフリーの人々

(その36)

### 花粉前線ついに到来

先週の土日(13、14)は全国的に4月並みの陽気だということでした。15日の月曜は一転して風が冷たくて、午後にはアラレまじりの雨が降るなど、また冬に戻ったような天気です。これだけ冷えて、次に4月並みの陽気になったら桜が咲くのではと、インターネッ上で今年の桜前線を見てみました。和歌山は3月27日(昨年)は23日(



ひめだ高宏

と聞こえます。まだ1カ月前です。花粉前線を見ても、なると2月の中旬からと。気がつけば、マスクをした人がたくさんいるようです。知った人がマスクをつけていけば「風邪引きですか?」と聞いてみるのです。ある患者にそう聞くと「花粉症で」との答。私もさういえば最近なるとなく目がしょしょおいてくるような...ギョッ!

安倍政権は日本をどこにもっていくのか?

### 自民党改憲案 学習会

2月27日(土) 13時30分開会

講師 深谷 登 氏

(憲法9条を守る和歌山共同センター事務局)

会場 産センター 4F

入場無料

(主催) 戦争法廃止・2000万署名を実現する和歌山南地区の会(準備会)

27日に結成をめざします!

# 第6回生活保護裁判を傍聴

2月12日(金)午前10時30分から和歌山地裁202号法廷で、生活保護裁判が開かれ、私、ひめだも傍聴。

この裁判は、生活保護基準引き下げを受けた人々の生活保護基準引き下げ部分の取り直し、国に対し生活保護基準引き下げを受けたこと

2月12日(金)午前10時30分から和歌山地裁202号法廷で、生活保護裁判が開かれ、私、ひめだも傍聴。

この裁判は、生活保護基準引き下げを受けた人々の生活保護基準引き下げ部分の取り直し、国に対し生活保護基準引き下げを受けたこと

## 日本共産党

### 有田川町の女性後援会と

県内各地にある女性後援会、いつもあたたかく迎えてくれることに大変嬉しく思っています。先日、有田川町の女性後援会「たんぽぽの会」のつ

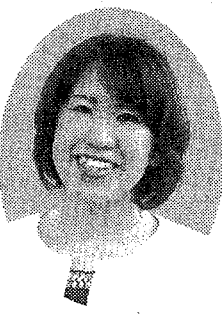
村祥子弁護士がその要約を口頭で主張しました。裁判後には弁護士会館で報告集が開かれました。次回は4月26日(火)13時10分。

**憲法25条** 300円  
ピンバッジ

「生活保護裁判を支援するおかわりの会」

**憲法25条** すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。  
国は、すべての生活部面について社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

どいに参加しました。昼食を食べながら最近続けざまに起こっている自民党議員の不祥事や、医療・介護など社会保障をどんどん削る安倍政治に腹が立って仕方がないと次から次に怒りの声が上がりました。参加者から「怒りは行動に移さなければいけない」と、つどいが終わってからみんな



坂口 美子 (参院選等区)

街頭宣伝を行いました。行きかう車からガンバレのアピールがたくさんあり元気が出ました。「参議院選挙に向け、胸をふらぶに頑張ろう」を胸に全力で頑張っています。

**潮流**  
(16.2.12日付)

年間被ばく線量の1ミリシーベルトは、何の科学的根拠もない」という丸川珠代環境相。北海道の一部である「歯舞諸島」を読めなかつた島尻安伊子沖縄北方担当相。閣僚のお粗末ぶりがニュースになっています

▼丸川氏は、記者会見で「誤解を与えたなら、言葉足らずだったことには、おわびしたい」と陳謝。島尻氏は、「ご心配をおかけしたなら申し訳ない」と頭を下げました

▼共通して感じられるのは、「謝って、これで終わり」という姿勢です。「口利き」の見返りに大臣室で50万円の現金を受け取るなど、重大な法律違反の疑惑がある甘利明前経済再生相を「説明責任をはたした」などと、安倍首相が、いまだにかばい続けていることも背景にあるのでしよう

▼丸川、島尻の両氏が、

昨年10月に発定した第3次安倍内閣で、女性の活躍の names もとに初入閣したことも共通しています。安倍首相は、どんな活躍をも二人に期待していたのか、

▼丸川氏は、第2次安倍内閣の厚生労働政務官時代に、派遣会社の新聞広告に出演。日雇い派遣の「原則禁止」は「見直すべきだ」と発言し、参院厚生労働委員会でも問責決議を全会一致で可決された経歴の持ち主です。島尻氏は、顔写真入りカレンダーを支援者に無料で配布していた公選法違反疑惑が指摘されています

▼閣僚が適材適所ではなかった、というだけでは済みません。国民を苦しめる政権が今回の事態を生み出したのであり、そのおごりの深さを汲み取りにしています。

**赤旗** 日刊紙  
3497円